

応募

応募者(応募した者)												
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況				認定農業者か否かの別	農地利用最適化推進委員への応募の有無	応募する理由
				年月日	職名・役職名等	営農類型	主な作物	経営規模	形態			
保坂 健次	男	71	農業	昭和53年4月20日 平成27年3月31日 平成31年4月1日 令和6年4月1日 令和7年6月1日	山陽地区消防組合採用 宇部山陽小野田消防組合退職 厚狭寢太郎地域環境保全会理事 碓堤水利組合組合長 山陽小野田市農業委員に就任	水稲 露地野菜	米 カボチャ ブロッコリー	180a	専業	認定農業者	無	私はこの半年間、農業委員として活動してまいりました。現地調査や農地利用状況調査、許認可業務を通じて、農地を守っていくことの難しさを学びました。特に利用権設定では、高齢化や様々な状況により耕作が難しくなった農地を意欲のある担い手につなぐことが重要と考え双方の話を丁寧に聞きながら調整を行いました。このような取組が農地の有効利用につながったと感じています。まだ経験は浅く知識も乏しい中、現場で学んだことを今後の活動に活かし、信頼される農業委員として頑張ってまいります。引き続き農業委員として地域の発展に寄与するべく再任に応募します。
木村 芳則	男	73	農業	平成26年7月 平成29年8月 令和2年7月 令和5年7月	山陽小野田市農業委員就任 農地利用最適化推進委員就任 農地利用最適化推進委員再任 農地利用最適化推進委員再任	水稲 野菜作	米 露地野菜	40a	専業	認定農業者ではない	無	本市でも地域の農業を持続・発展させるため、地域計画が策定され10年後の「理想の農業の姿」に向け少しずつ動き出しています。不透明なところはまだまだありますが、地域の宝である農地を守り持続可能な農業体制を構築していくことが重要だと思います。農業委員、農地利用最適化推進委員として12年間農地の利用最適化に係わってきた経験を生かして、土地所有者や地域の方々と一緒に農地を守っていきたいと思い、農業委員に応募しました。